

日仏哲学会公開シンポジウムの予告

日仏哲学会はつぎのようにシンポジウムの開催を準備しております。

主題：「ハイデッガー、ナチズム、デリダ」

出席者：山本 尨 氏、港道 隆氏、西谷 修氏 司会：中村雄二郎氏

日時：4月16日（火）午後6時～9時

場所：東京日仏会館会議室

L'Association des Sociétés de Philosophie de Langue Française(ASPLF)
の国際学会の報告と予定

ASPLFの第23回国際学会が昨年9月1-5日チュニジアのハマメットで開かれました。これは本学会が正式に加入してはじめての学会でした。日本から約10名参加し、分科会で柴田有、上野修、谷川多佳子の3氏が発表されました。次回の開催予定が次のように発表されましたので、お知らせいたします。

Prochain Congrès de L'ASPLF: à Poitiers France 27-31 Août 1992

jeudi 27 août: au soir, accueil des congressistes.

vendredi 28, samedi 29, dimanche 31: séances.

lundi 31: excursion poitevine.

Thème général: LA VIE ET LA MORT.

Six sections permettront la ventilation de vos communications. Inscrivez-vous aussitôt selon les directives que vous donneront les organisateurs de la Société poitevine. Vous pouvez dès maintenant entrer en contact avec Prof. J.L. Vieillard-Baron

Université/Philosophie

8 rue Descartes POITIERS-86000 France

ASPLFの学会発表記録がつぎのように刊行されています。

DOCTRINE ET CONCEPTS 1937-1987, Actes du Colloque pour le Cinquantiennaire de L'ASPLF 1987, Librairie Vrin, 1988.

L'ESPACE et LE TEMPS, Actes du XXIe Congrès de L'ASPLF 1988, Vrin, 1990.

つぎの学会について詳細を知りたいかたは、事務局にお問い合わせください。

Colloque international-Grenoble 18-20 septembre 1991

Maurice Merleau-Ponty: le philosophe et son langage

à L'Université de Grenoble II

日 仏 哲 学 会 の 活 動 に つ い て

中村雄二郎

このたび、日仏哲学会会長をお引き受けすることになった。激動する世界のなかで哲学や思想が大きく問われている。こういう時期にこのような立場に立たされて容易ならぬことだと思っっている。が、逆にいえばこういう時期こそ新しい飛躍のチャンスでもあり、事実、哲学や思想についても、世界各国との交流および相互理解がこれまでにない可能性をもってきている。とくにフランスでは、日本の文化や思想に対して本気で考える人たちが増えてきている。今や若い世代の研究者の方々が国際的にチャレンジする絶好の機会であり、できるだけそのお役にも立ちたい。また、日仏哲学会を狭く日仏間の問題だけでなく東洋を含めて世界の重要な問題（むろん、日仏に関係のある）をも扱える場所にしたい。四月に「ハイデガー、ナチズム、デリダ」をめぐってのシムポジウムを開くことになったのも、そのような趣旨からである。学会内外のお力添えを得たい。

日 仏 哲 学 会 公 開 シ ム ポ ジ ウ ム

すでに予告しましたように、つぎのようにシムポジウムを開催しますので、ご参加ください。

主題： 「ハイデガー、ナチズム、デリダ」
 パネラー： 山本 尤 氏、 港道 隆氏、 西谷 修氏
 司会者： 中村雄二郎氏
 日時： 4月16日（火） 午後6～9時
 会場： 東京日仏会館会議室

XXIVème CONGRÈS INTERNATIONAL DE L'ASSOCIATION DES SOCIÉTÉS DE PHILOSOPHIE DE LANGUE FRANÇAISE について

前号でお知らせしました来年のこの学会の分科会の主題がきまりました。詳細については、事務局にお問い合わせください。

Thème général: LA VIE ET LA MORT

Sections: I-Métaphysique et philosophies de l'existence

II-Les sciences de la vie; vie et mort dans la nature

III-Représentations esthétiques et culturelles

IV-Éthique et droit

V-Méditation de la vie et de la mort de l'Antiquité à Montaigne

VI-Vie et mort dans la philosophie moderne

謹 弔 理事 坂本賢三氏は去る1月9日に逝去されました。

事務局 101 東京都千代田区神田駿河台 2-3 日仏会館 内

総会および研究大会のお知らせ

下記のように今年度の総会および研究大会が開催されることになりましたので、ご案内もうしあげます。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

- (1) 日 時 9月6日(金) 総 会 13時30分~14時
研究大会 14時~16時30分
懇親茶話会 16時30分~17時30分
- (2) 場 所 東京日仏会館会議室
- (3) 研究大会 テーマ「西 欧 近 代 と ユ ダ ヤ 思 想」
発題・司会者 久米 博氏(桐朋学園大学)
報 告 者 「J.-F. リオタールとユダヤ思想」 小林康夫氏(東京大学)
「E. レヴィナスとユダヤ思想」 鈴木和成氏(横浜市立大学)
「J. デリダとユダヤ思想」 内田 樹氏(神戸女学院大学)
- (4) 出欠と会費 同封の葉書で研究大会の出欠を8月10日までにお知らせください。
会費(二千元)納入のため、郵便振替用紙を同封いたします。ご入金をお願いいたします。長期滞納の方は名簿から整理させていただきます。

昨年度の総会および研究大会の記録

1990年度の総会と研究大会は9月3日、東京日仏会館において開催されました。

研究大会 基調講演 《Descartes on the Perception of Primary Qualities》
講演者 マーガレット・ウイルソン氏 (プリンストン大学)
コメンテーター 坂井宏昭氏 (北海道大学)、小林道夫氏 (大阪市立大学)
司会・通訳 山田弘明氏 (名古屋大学)、香川知晶氏 (千葉大学)

会計報告 総会で報告承認された1989年度会計報告は下記のとおりです。
会計年度 1989年9月1日~1990年8月31日

	< 収 入 >	< 支 出 >	
会員会費	367,000円	大会費	33,530円
雑収入	51,966円	事務局費	26,971円
(仏政府補助金等)		通信費	70,600円
前年度繰越金	945,610円	印刷費	39,376円
		次年度繰越金	1,194,999円
	1,364,576円		1,364,576円

新入会員

去る4月16日の理事会で次の方々の入会が承認されました。

棧 優氏、加藤 武氏、柴田 有氏、西谷 修氏

ほかにも多数の入会申込をいただいております。入会希望者は、申込書を下記に請求してください。なお住所変更がありましたら、すぐおしらせください。

〒167 東京都杉並区井草1-42-9

久米 博

日 仏 哲 学 会

事務局

〒101

東京都千代田区神田駿河台

2-3

日仏会館 内

1991年度総会および研究大会の報告

今年度の総会および研究大会は去る9月6日、東京日仏会館にて開催され、活発な議論がかわされました。

研 究 大 会

テーマ 「西欧近代とユダヤ思想」

発題・司会者
報告者

「J.-F. リオタールとユダヤ思想」
「E. レヴィナスとユダヤ思想」
「J. デリダとユダヤ思想」

久米 博氏 (桐朋学園大学)
小林康夫氏 (東京大学)
内田 樹氏 (神戸女学院大学)
鈴木和成氏 (横浜市立大学)

会 計 報 告

総会で承認されました1990年度会計報告は下記のとおりです。

会計年度 1990年9月1日～1991年8月31日

< 収 入 >

会員会費	383,000円
雑収入	43,844円
(仏政府補助金等)	
前年度繰越金	1,194,999円

計 1,621,843円

< 支 出 >

大会費	59,097円
事務局費	35,949円
通信費	71,019円
印刷費	54,602円
次年度繰越金	1,401,176円

計 1,621,843円

新入会員

理事会で次の方々の入会が承認されました。(敬称略)

枝 保、押田江理子、恩地元子、加賀野井秀一、成瀬良徳、室井 尚、内田 樹、
鈴木和成、谷嶋喬四郎、加藤 敏、鈴木 泉。

モーリス・メルロ＝ポンティ 国際学会報告

上記の学会が1991年9月18～20日に、フランスのグルノーブル大学で、同大学とCNRSとの共催で行われました。世界各国から五十人ほどの研究者の参加があり、盛会でした。メルロ＝ポンティ没後三十年にもあたり、故人の甥である、パリ第十大学名誉教授ジャック・メルロ＝ポンティ氏(科学史)が臨席されました。

二日目の夕方に、「政治について、サルトル対メルロ＝ポンティ」と題するテーブル・ロンドがあったほかは、すべての時間が個人の研究発表と質疑応答に使われ、18人の発表がありました。ただし、ローマ、グレゴリオ大学のX. テリエット師の論文は、グルノーブル大学のハイジエック教授によって代読されました。なお、発表者のうち日本人は、松葉祥一氏(同志社大学)、広瀬浩司氏(パリ第一大学)、増田一夫氏(明治学院大学)、清水誠(武蔵大学)の4人でした。

各発表の主題はもちろん多様でしたが、「哲学者とその言語」という大会の主題がいみじくも言いあてておられるとおり、中期以降のメルロ＝ポンティの言語をめぐる思索と、言語とその表現の構造に基づく存在論の構築という、未完に終わった後期思想の解明とに、大半の研究発表の意向が向けられていたと思います。

清水 誠 記

1992年度総会および研究大会の報告

日仏哲学会の今年度の総会と研究大会は去る9月7日、東京日仏会館で開催されました。

研究大会

テーマ 「G. バタイユと〈社会学研究会〉」

司会者 坂部 恵氏 (東京大学)

報告者 「社会学研究会における共同体の問題」

兼子正勝氏 (電気通信大学)

「《アセファル》から『無神学大全』へ —— ニーチェ観の変遷」

酒井 健氏 (電気通信大学)

「供儀および贈与の捉え方 —— 『内的経験』において、また『呪われた部分』(三部作)において」

湯浅博雄氏 (東京大学)

会計報告

下記の1991年度会計報告が総会で承認されました。

会計年度 1991年9月1日～1992年8月31日

<収 入>

会員会費	329,000円
雑収入(仏政府補助金)	50,000円
前年度繰越金	1,401,176円

計1,780,176円

<支 出>

大会費	81,280円
事務局費	29,166円
通信費	94,003円
印刷費	13,900円
次年度繰越金	1,561,827円

1,780,176円

※ 昨年度のシンポジウム「西欧近代とユダヤ思想」の発表と討論が雑誌『現代思想』1992年1、2月号にまた今年四月のシンポジウム「医学の根源としての生命論の系譜」の発表も同誌1992年8月号に掲載されました。

新入会員 酒井 健氏、兼子正勝氏、村瀬 鋼氏。

第二四回フランス語哲学会連合国際学会報告

8月27-30日に上記の学会がポワチエ大学のHotel Fuméで開催されました。参加者350人。Jean Bernard氏やMichel Henry氏らの講演のほか、七つの分科会にわかれて約180の発表がなされ、最大規模の学会となりました。またMontaigne 没後400年を記念してTable Rondeもおこなわれました。日本からの参加者は6人。大会テーマは“La Vie et la Mort”で、元本学会員Frédéric Girard氏がLa vie et la mort au Japonと題する発表をされました。Jacques D'Hondt 会長から次回には是非おおくの日本人会員が発表するようにと懇請されました。フランス語で発表すること以外にはなんの条件もありません。若い研究者から老大家までが一堂に会して発表し、討論しあうところにこの学会の特色があるようです。次回は1994年にスイスのローザンヌで開かれる予定です。それについては、いずれお知らせいたします。

久米 博 記

1993年春のシンポジウムのお知らせ

テーマ 「宗教と政治 —— 十七世紀の再発見」

司会者 田島節夫氏 (立正大学)

報告者 「人間的信仰による認識

——『ポール・ロワイヤル論理学』第四部をめぐって」 塩川徹也氏 (東京大学)

「スピノザにおける聖書解釈と政治的なるもの」

上野 修氏 (山口大学)

「スピノザにおけるかたちと力

——アルチュセールとドゥルーズの所論とのかかわり」 桜井直文氏 (明治大学)

日 時 4月5日 (月) 午後6時-8時半

場 所 東京日仏会館会議室

理 事 選 挙 結 果

昨年暮の理事選挙において下記の方々を選出され、就任を承諾されました。

(五十音順、敬称略)

池辺義教、今村仁司、宇波 彰、久米 博、小林道夫、小林康夫、坂部 恵、佐々木健一、塩川徹也
清水 誠、高橋哲哉、田島節夫、谷川 渥、中田光雄、中村雄二郎、西谷 修、松永澄夫、山形頼洋
山田弘明、湯浅博雄

※澤瀉久敬氏は名誉会長として、理事には推薦いたしませんでした。

《新入会員》

塚田澄代 〒508 岐阜県中津川市落合725-3

《住所変更》

香川知晶 〒290 市原市君塚5-35-8
小沢明也 〒336 浦和市東岸町3-13
上野 修 〒753 山口市香山町3-1

※住所、勤務先など変更の際には、事務局までご一報ください。

日 仏 哲 学 会

事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台 2-3 日仏会館 内

総会および研究大会のお知らせ

今年度の総会および研究大会が下記のように開催されることになりましたので、ご案内申し上げます。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

- (1) 日 時 9月7日(火) 総 会 13時30分-14時
- 研究大会 14時-16時30分
- 懇親茶話会 16時30分-17時30分

(2) 場 所 東京日仏会館会議室

(3) 研究大会 テーマ 「ラカンと哲学」

司会者 佐々木孝次氏 (専修大学)

報告者 「ラカンの精神分析理論における死の概念——死の欲動と死への接近——」 加藤 敏氏 (自治医科大学)

「ラカンのリチュラテール(日本論)」 若森栄樹氏 (独協大学)

「ラカンと精神医学」 関 直彦氏 (東京大学)

(4) 出欠と会費 同封の葉書で研究大会への出欠を8月15日までにお知らせください。会費(二千元)納入のために、郵便振替用紙を同封いたします。長期滞納の方は名簿から整理させていただきます。住所、所属その他の変更がありましたら、そのつど事務局にご一報ください。

第25回フランス語哲学会連合国際学会のお知らせ

上記学会が1994年8月25-28日、スイスのローザンヌで開催されることになり、詳細が知らされてきました。これは日仏哲学会がこの学会に加入してから三度めの国際学会になります。是非多くの会員が参加し、発表されることを期待します。Jacques D'Hondt 会長からも多数の日本人会員が発表するように懇請されております。以下に学会の概要をお知らせしますが、詳細については事務局にお問い合わせください。

Le XXVe Congrès de l'Association des Sociétés de philosophie de langue française
 Le Thème général du Congrès: LA NATURE

- Les Communications se répartiront en huit sections.
1. Attitudes culturelles, artistiques et esthétiques face à la nature
 2. La nature dans les sciences
 3. Nature et technique
 4. Nature et société: aspects écologiques et politiques
 5. Nature, éthique et droit
 6. La nature dans la philosophie antique et médiévale
 7. La nature dans la philosophie moderne et contemporaine
 8. La nature et les théorisations de l'humain dans les débats

Les participants qui souhaitent présenter une communication sont priés de l'indiquer au moyen de bulletin. La présentation de la communication durera 20 minutes au maximum et sera suivie d'une discussion de 10 minutes environ. Les résumés dactylographiés des communications(15-20 lignes) devront nous parvenir jusqu'au 1er mai 1994.

Frais d'inscription: 100 frs s (avant le 31.12.'93) 130 frs s (dès le 1.1.'94)

1993年度総会および研究大会の報告

日仏哲学会の今年度の総会と研究大会は去る9月7日、東京日仏会館で開催されました。

研 究 大 会

テーマ
司会者
報告者

「ラカンと哲学」

佐々木孝次氏 (専修大学)

「ラカンと精神医学」

「ラカンの精神分析理論における死の概念」

「ラカンのリチュラテール(日本論)」

関 直彦氏 (東京大学)

「死の欲動と死への接近」

加藤 敏氏 (自治医科大学)

若森栄樹氏 (独協大学)

会 計 報 告

下記の1992年度会計報告が総会で承認されました。

(会計年度 1992年9月1日～1993年8月31日)

(収 入)

会員会費	414,000円
雑収入(仏政府補助金)	40,000円
前年度繰越金	1,561,827円
計	2,015,827円

(支 出)

大会費	96,185円
事務局費	13,899円
通信費	99,749円
印刷費(含名簿製作費)	157,053円
次年度繰越金	1,648,941円
計	2,015,827円

新入会員

転居先不明者

関 直彦氏、末次 弘氏、野町 啓氏、若森栄樹氏、白石嘉治氏
浅田淳一氏、白仁高志氏、富田和男氏、宮崎 隆氏 (ご存じの方、ご一報下さい)

LE SÉMINAIRE DE PHILOSOPHIE のお知らせ

リヨン大学哲学科のAlain-Marc Rieu 教授は日仏会館を本拠にして、今年から種々の活動を展開されており、秋から哲学セミナーを開催されます。その第一回が下記のように行われますので、お知らせします。

Première Séance: Professeur Alain-Marc RIEU 《L'expérience de la modernité》
Samedi 9 octobre 1993, 14h30 - 17h Maison franco-japonaise, Tokyo

Résumé:

Une expérience collective est à la source de la philosophie contemporaine européenne. Elle se forme en Allemagne au début du siècle dans l'expressionnisme; et n'en finit pas d'être répétée ou redécouverte depuis lors. L'expérience expressionniste porte sur la société industrielle, le rôle de la technique, sur l'individu dans la ville; elle dénonce la solitude, la culture de masse, l'oubli de la nature et la perte des valeurs; elle cherche un absolu, désire le découvrir ou pense son anéantissement. Tous ces thèmes constituent ce qu'on nomme la modernité; ils conditionnent sa critique et son dépassement. L'analyse sera effectuée à partir d'un film célèbre qui en est la condensation, Metropolis(1927) de Fritz Lang.

L'objectif est double: montrer que les philosophies sont (aussi) une élaboration d'expérience collective, prouver que l'expérience expressionniste est devenue aujourd'hui un obstacle à la pensée, à la création en général.

1994年春のシンポジウムのお知らせ

テーマ 「フランス哲学とドイツ古典哲学」
 司会者 中田光雄氏
 報告者 「ライブニッツをセールに翻訳すると. . .
 — 普通言語と翻訳可能性について —」 竹内信夫氏
 「『判断力批判』の可能性
 — 「崇高なもの分析論」のリオタールの読解 —」 本間邦雄氏
 「メルロ＝ポンティとシェリング
 — 問いかけと知的直観 —」 加国尚志氏
 日 時 4月7日(木) 午後6時～8時半
 場 所 東京日仏会館会議室

J. -L. Marion教授招聘決定

本会は日仏学者交換の候補者としてJean-Luc Marion 教授(パリ第十大学)を推薦しましたところ、この程決定いたしました。同教授は、パスカル研究者Vincent Carraud氏を同伴されて、5月13日に来日され10日間滞在される予定です。その間の学術交流予定は次の通りです。

5月16日(月) 17時～19時 於 東京大学山上会議所
 Table Ronde: 《La causa sui - l'apriori métaphysique et Dieu selon Descartes.》
 5月17日(火) 18時30分～20時 於 東京日仏会館会議室
 講演会: 《La contribution à une nouvelle définition du phénomène: le phénomène saturé.》
 5月20日(金) 於 京都大学 講演会(16日と同じ題目)
 5月21日(土) 於 大阪市立大学 講演会(17日と同じ題目)

第25回フランス語哲学会連合国際学会のお知らせ

上記学会が今年8月25～28日、スイスのローザンヌで、La Nature を総主題として開催されます。参加を希望される方は、なるべく早く事務局(久米博)にお申し出ください。申込書類をお送りします。

哲学セミナー 「自然、環境、空間：テクノサイエンス社会における場所の論理」

日 時：3月18日17時 場 所：日仏会館会議室
 発表者：オギュスタン・ベルク氏、伊東俊太郎氏
 コメンテーター：中村雄二郎氏、A.-M. リュウ氏、P. モリゼ＝マウドー氏
 上記のセミナーがディスカッション形式でおこなわれますのでご案内いたします。